

# 堂 谷 津 の 里 か ら

堂谷津の里では、11月3日に「親子で米づくりと自然体験」の参加家族と会員合計約50名が参加して収穫祭を無事に終えることができました。今年も、参加者が分担して食事作りを行い、自然の恵みに感謝しながら、釜で炊いたご飯、芋煮、焼き餅、焼き芋などを味わいました。収穫祭後は、冬期湛水のため田んぼへの導水を始めました。その水源は山林からの湧水で、降雨量が少ないと湧水量が細ります。この間、その影響を軽減するため、湧水をできる限り活用する対策を講じてきましたが、今回はその湧水対策について報告します。

12月16日には今年最後の行事である正月飾り作りを開催し、ハウスにも飾りつけを行い、堂谷津の里は、新しい年を迎えます。

## 【活動広場での収穫祭】



今年はクラフトコーナーも設けました。

親子米づくり参加家族には  
収穫したお米が届けられました。

## 【活動広場での正月飾り作り】



## 【導水が始まった田んぼ】



堂谷津の里の湧水対策

バランス 21 の米づくりは湧水を利用する冬期湛水・不耕起栽培です。

2012 年以來この栽培を続けていますが、これまでに二度の渇水を経験しました。2019 年は、冬期の渇水のため田植が一部実施できないなどの被害を受けました。湧水の量は降水量の影響で変動します。そこで、湧水を年間通して安定的に利用できるよう、地下水の動向を 5 年あまり調査し、渇水緩和策を取りまとめました。

現在は、渇水緩和策を生かした米づくりを行なっています。

渇水緩和策の効果を表 1 に示し

ました。対策実施後は、降水量の少ない時期が続いても土水路流域（図 1 の緑の区域）の地下水水位が高く維持され、土水路の集水機能が活かされ湛水面積が減少していません。

表 1 降水量の少ない月における渇水緩和策の効果

調査年月	渇水緩和策	降水量		地下水水位	湛水面積
		直近3か月	2月		
2019年2月	実施前	128mm (71%)	68mm (117%)	-38cm	450m <sup>2</sup>
2021年2月	実施後	121mm (67%)	63mm (109%)	-13cm	2,250m <sup>2</sup>

注)直近3か月:前年12月から当年2月までの3か月  
降水量の( )内は平年比。地下水水位の基準は地表面

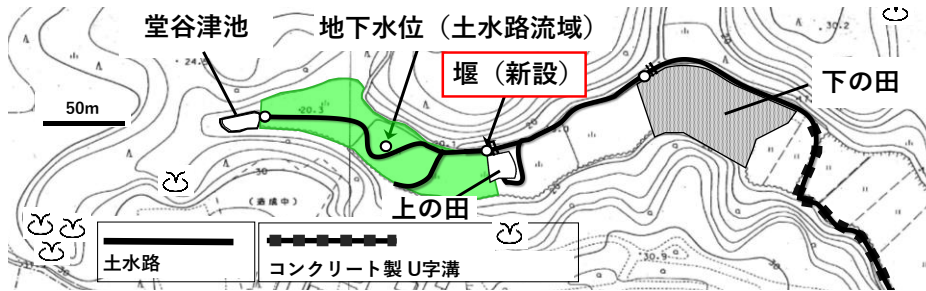


図1 渇水緩和策実施後の用水路 2019年12月以降



堂谷津奥の湧水 (2019/7)



土水路流域の地下水水位の維持に貢献する堰 (2020/2)



流域の地下水を集水し水量を増す土水路 (2020/2)



対策実施前の下の田 (2019/2/16)



対策実施後の下の田 (2021/2/16)

<情報コーナー>

今年の活動は、12月19日(火)で終了しました。来年は、1月9日(火)から始めます。来年も、多くの皆さんと一緒に活動することを楽しみにしています。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :https://balance21.jimdo.com/

連絡先：千葉県若葉区谷当町 70

TEL & FAX:043-239-0645 (現地)